



掛川市では、「創像力」「創合力」「創律力」からなる未来を切り拓く「3つの創る力」を育てることを目指し、学校・家庭・地域が連携し、市民総ぐるみの教育を進めています。この『かけがわの子供たち』は、子供たちのよりよい成長のための家庭教育の手引きとなります。各家庭で、子供たちの取組が充実したものになるよう御理解と御協力をお願いします。

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から

本年度の「全国学力・学習状況調査」(小学校6年児童及び中学校3年生対象)の結果を、掛川市の子供たちの特長とともにお知らせします。

各教科に関する調査の結果 (令和7年度は、国語、算数・数学、理科)



県・全国の平均正答率(中学校理科はIRTスコア※¹) (以下、平均正答率等という。)をそれぞれ100としたとき、掛川市の平均正答率等がいくつになるかという指標値で比較しました。

校種	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
県比較	101	101	100	101	104	102
全国比較	100	99	97	105	110	107

小学校は県をやや上回り、全国とは同程度か、やや下回りました。
中学校は、県、全国ともに上回りました。

※¹IRT(Item Response Theory:項目反応理論) 児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。IRTスコアは、IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

きらりと光る かけがわの子供たち ~児童生徒質問紙調査(抜粋)より~



調査から読み取れる、特に「きらりと光る」掛川市の子供たちの頑張っているところやよいところを紹介します。

[肯定的回答の割合]

設問	小学校			中学校		
	掛川市	全国	差	掛川市	全国	差
自分にはよいところがある。	87.5%	86.9%	+0.6	87.5%	86.2%	+1.3
人が困っているときは進んで助けている。	95.4%	93.7%	+1.7	93.7%	90.9%	+2.6
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	83.8%	81.7%	+2.1	82.1%	77.5%	+4.6
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。	87.4%	84.9%	+2.5	90.7%	84.7%	+5.3



掛川市ホームページも御覧ください。

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9246.html>



力を伸ばす! 「かけがわ家庭の学び」3つのポイント

各教科の平均正答率等と児童生徒質問紙調査の回答の相関関係を分析し、子供の学びを学校・家庭・地域と切れ目なくつなげて支える『かけがわ家庭の学びグランドデザイン』と関連付け、家庭の学びのポイントを3つにまとめました。子供の可能性を最大限引き出すために、みんなで意識して取り組んでいきましょう。

児童生徒質問紙調査において、次のような項目に肯定的な回答をした子供たちは、「教科に関する調査」において平均正答率等が高い傾向がありました。

- ◎朝食を毎日食べている。
- ◎毎日、同じくらいの時刻に寝て、起きている。
- ◎学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- ◎分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。

- ◎国語、算数・数学、理科で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている。
- ◎授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思っている。
- ◎総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。

- ◎自分には、よいところがあると思っている。
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- ◎自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- ◎学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている。
- ◎学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

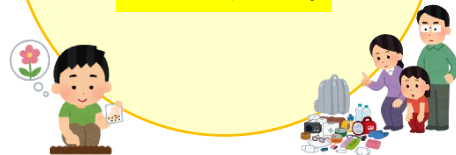
Point1

よりよい学習・
生活習慣を
身に付けよう



Point2

学びを
実生活や体験と
つなげよう



Point3

家族の会話や
団らんの場を
大切にしよう



関連資料

『かけがわ家庭の学びポータル』
…『かけがわ家庭の学びグランドデザイン』に基づき、「家庭の学び」について市民総ぐるみで考えるための資料と関連WEBサイトを掲載したポータルサイト。

<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/shisei/kyoikuiinkai/kateinomanabi/>



Point1

よりよい学習・生活習慣を身に付けよう

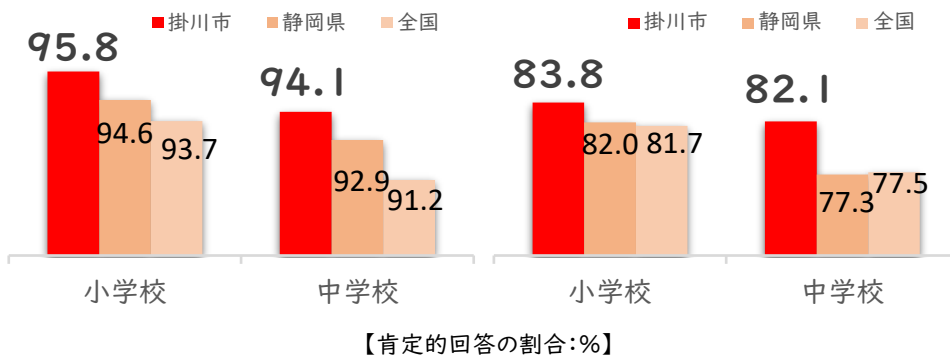
児童期において基本的な生活習慣を確立し、青年期までに望ましい学習習慣を定着させていきたいものです。そのためには、家庭のルールやめあてを決め、定期的に振り返りの機会をもつことも大切です。また、日常生活の中で出てくる子供の疑問を、大人が解決してしまうのではなく、追究したり視野を広げたりするきっかけにしていけるとよいです。よりよい学習・生活習慣を身に付けるため、家族みんなで意識していけるような取組をしていきましょう。

家庭での望ましい生活習慣が、学校生活の充実につながります。

望ましい学び方を身に付けることは、教科の学力の向上に結び付いていきます。

朝食を毎日食べていますか。

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか。



回答別平均正答率

	小学校 (国算理)	中学校 (国数)
当てはまる	65.3 %	61.5 %
当てはまらない	51.6 %	43.9 %

Point2

学びを実生活や体験とつなげよう

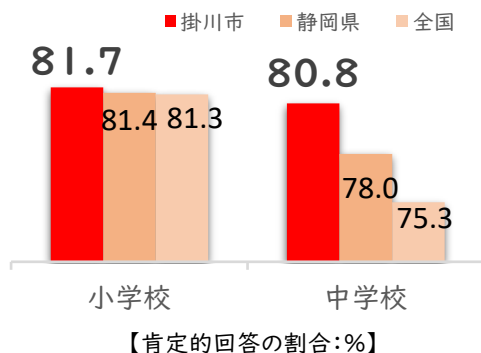
掛川市では、地域ぐるみで子供を育てる意識が浸透し、学校では、地域の方々が得意分野を生かし、様々なことを教えてくださっています。子供たちが地域と関わり、実体験を通して学ぶことで、地域や社会をよりよくする意識や学力に、好影響を与えていると考えられます。御家庭においても、地域の行事への参加など、お子さんと一緒に体験をする中で、学校の学びと実生活が結び付くような働き掛けをしていきましょう。

地域との関わりを通して学ぶ経験が多いからこそ、高い意欲につながっていると考えられます。

学びが実生活で役立つ実感や必要感が、教科の学力の向上に結び付いていきます。

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

国語、算数・数学、理科で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



各教科回答別平均正答率等

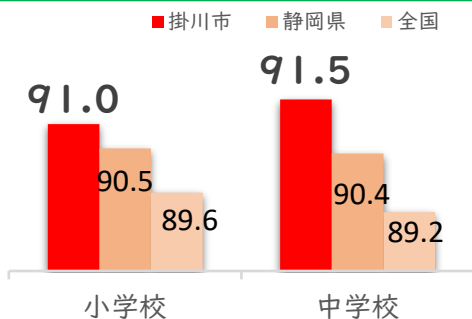
	国語		算数・数学		理科	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
当てはまる	70.7 %	59.3 %	62.1 %	59.2 %	57.4 %	583
当てはまらない	51.3 %	46.6 %	38.3 %	37.6 %	48.8 %	485

Point3

家族の会話や 団らの場を 大切にしよう

掛川市の子供たちは、県や全国に比べ、自己肯定感や自己有用感が高い傾向にあります。こうした感覚は、家庭や地域、教育・保育施設、学校等において、子供たちに関わる多くの大人からの愛情ある関わりによって生まれ、次への一步を踏み出すときの安心感や他者への信頼感につながっています。そして、その基盤となるものは、やはり家庭にあります。子供の思いに寄り添い、よさを認め励ます団らの場となるよう、日々の会話を大切に、子供たちの前向きな心を育てていきましょう。

自分には、よいところがあると思いますか。
先生は、あなたのよいところを認めてくれている
と思いますか。



【肯定的回答の割合:%】

青年期「心をつないで、応援しよう」

- ・私は、〇〇ぐらいの頃には
- ・…を頑張っていたよ。
- ・～について考えているんだね。
- ・もうちょっと聞かせて。
- ・これまで～してきているから、〇〇なら、きっと大丈夫!

こんな声かけが
「いいね」👍

児童期「成長を認めて、寄り添おう」

- ・〇〇は、どうしたいの?
- ・今日はどんなことを学校で学んだの? 友達の意見についてどんなことを考えた?
- ・前と比べて～になっているね。
- ・ずっと～していたものね。



【『家庭の学びブランドデザイン・家庭の学びファンリテーターのすゝめ』より抜粋】



Let's Try! 「かけがわ家庭の学び」チェックリスト

チェックリストを参考に御家庭の様子を振り返り、家庭の学びを充実させるための“我が家の取組”を考え、実践していきましょう。

Point1

よりよい学習・ 生活習慣を 身に付けよう

- 生活の仕方、スマホやゲームの利用などの我が家のルールを決め、実践しましょう。
- 家庭で本や新聞を読む時間を確保し、家族で感想を伝え合ってみましょう。
- 定期的に、生活習慣や我が家のルールについて、家族で振り返り、改善していきましょう。



Point2

学びを 実生活や体験と つなげよう

- 祭典や防災訓練など、地域の行事に家族で参加してみましょう。
- 地域のよさに目を向け、家族でできることを話し合ってみましょう。
- お子さんが、その日に学校で学んだことや体験したことを話すことができるよう、じっくり話を聞く時間を確保してみましょう。



Point3

家族の会話や 団らの場を 大切にしよう

- 団らの時間と場を大切に、家族での会話の場面をつくってみましょう。
- その子のよさや成長の過程を認め、積極的に伝えてみましょう。
- 子供の話をよく聞き、自己決定を促したり、挑戦を後押ししたりしてみましょう。

